

防災

ウォークラリー問題・解答・解説

- 1 ここ稲ヶ崎(いながさき)公園は、津波(つなみ)の恐(おそれ)がある際に避難(ひなん)する高い場所です。高さは何メートルでしょう。
A. 37.8m
津波の危険がある場合一時避難場所となります。
- 2 ここは〇〇避難場所(ひなんばしょ)です。〇に当てはまる言葉は何でしょう。
A. 一時避難場所
- 3 神社の境内(けいだい)から
「平成23年3月11日・・・〇〇地区に〇〇な被害(ひがい)〇〇被害(ひがい)なし」
〇に入る言葉は何でしょう。〇に当てはまる言葉
A. 月浜地区に甚大な被害 人的被害なし
家屋の倒壊など壊滅的な被害でしたが、命を落とした人はいませんでした。
- 4 東日本大震災前、月浜には27の宿がありました。現在はいくつの宿があるでしょう。
A. 5 (看板から)
東日本大震災前は多くの民宿でにぎわいましたが、
現在は5つ(かみの家、ちどり館、山根、西の家、新浜荘)にまで減少しました。
- 5 消防や救急の緊急(きんきゅう)通報(つうほう)は119番。では海の緊急(きんきゅう)通報(つうほう)は次のうちどれでしょう。
A. 116 B. 117 C. 118
A. 118 (選択肢はC)
- 6 この地点の津波(つなみ)到達(とうたつ)の高さは何メートルでしょう。
A. 概ね2m (身長と比較して)
東日本大震災時の津波の高さを上回った場所に、野外炊飯棟が整備されています。
- 7 松島自然の家本館は〇〇避難所(ひなんしょ)です。〇に入る言葉は何でしょう。
A. 地域避難所
松島自然の家本館は、宮戸小学校の跡地に建てられました。
ここはちょうど島の中心に位置しており、どの地区の方でも集まりやすい場所にあります。震災時も各地区の方々が集まり、知恵を出し合って避難所を運営しました。

ウォークラリー活動の流れ

事前に本所の HP から解答用紙、地図、解答を印刷し、グループ数分ご準備ください（解答は引率者のみ）。到着直後にウォークラリーを行う場合、バインダーとえんぴつをグループ数分お渡ししますので、本所にお立ち寄りください。

1 オリエンテーション確認事項

- ①持ち物（えんぴつ 解答用紙 地図 バインダー）グループに1つ
- ②スタート・ゴール・トイレの場所
- ③公道 車両注意
- ④グループでまとまって行動
- ⑤活動区切りの時刻（途中でも集合する時刻）
- ⑥緊急時の避難場所の確認

2 ウォークラリー開始

- スタート前に引率者をポイントに配置

3 ウォークラリー終了

- 答え合わせ
- 感想発表など実態に応じて

4 帰所

- バスまたは徒歩（食堂利用の際は遅れないように）

